

パソコンでQRコードを読み取る方法

旅行案内や役所のお知らせなど、QRコードが入った文書が増えています。
今回はパソコンでこのQRコードを読み取って内容を表示するようにしてみましょう。

1. QR読み取り用の無料ソフトをインストール

(備考: Windows 11では標準のカメラアプリでQRコードを読み取れる可能性があります)

(1)「Microsoft Store」を開く

「スタート」→「Microsoft Store」とクリックする→「Microsoft Store」の頁が開く(図1)。

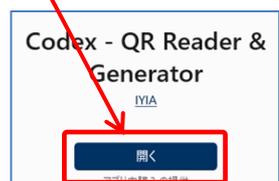
(2)「Microsoft Store」の頁で、QRコード用のソフトを検索する

頁最上部の検索窓に「QR code」と入力してEnterキーをクリックする→QRコード用のソフトがいろいろ表示されるので、「無料」の「Codex - QR Reader & Generator」をクリック。



(3) 選択したソフト「Codex - QR Reader & Generator」のインストール

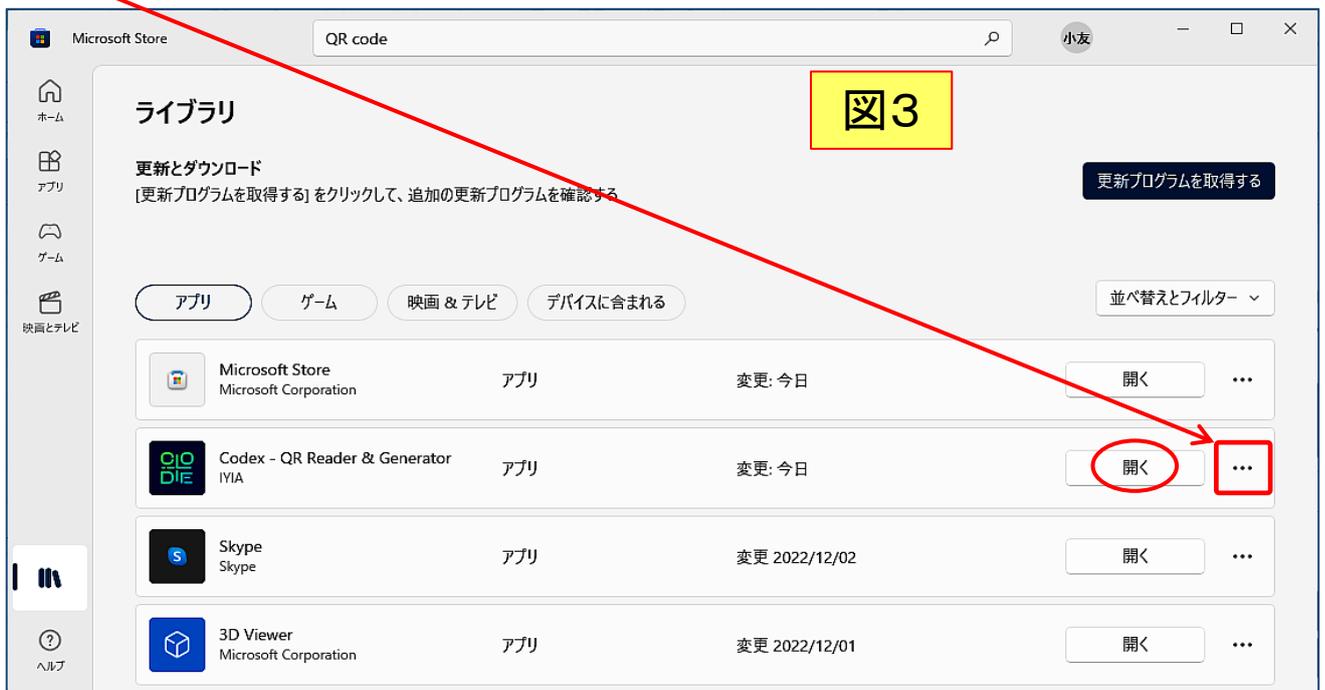
選択したソフト(Codex - QR Reader & Generator)の説明画面に切り替わるので、内容を確認して「インストール」をクリックする。→インストールが完了すると「開く」に表示が変わります。



この「開く」をクリックしQRコード用ソフトを開くことができます。

(4) 選択したQRリーダーソフトをスタートメニューに登録(ピン留め)

図2において左枠側の「ライブラリ」(赤点線枠部)をクリックすると、ライブラリの一覧が表示されます(図3)。(3)でインストールしたソフト(Codex - QR Reader & Generator)の右端の「⋮」部をクリックし、表示されるメニューから「スタートにピン留めする」をクリックします。

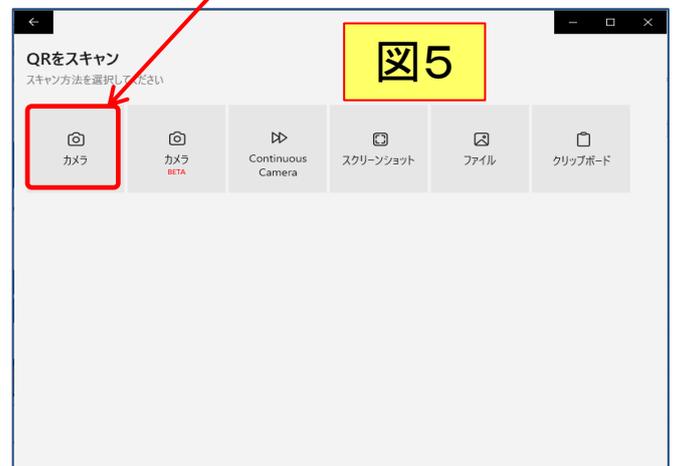
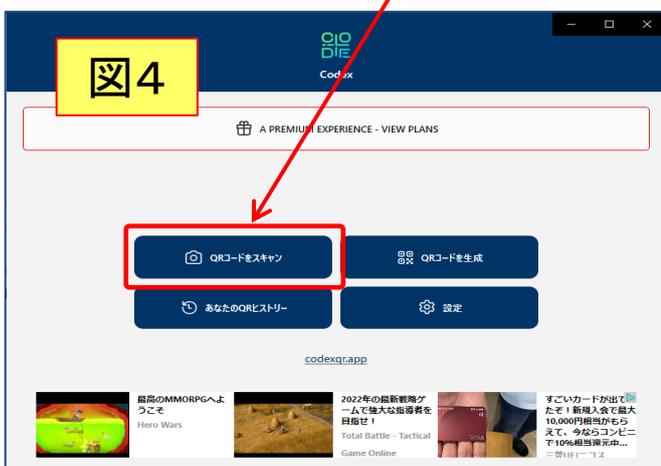


2. 実際にQRコードを読み取ってみましょう

(1) QRコード読み取りソフトを開く

図3において「開く」(赤丸部)をクリックして開くことができますが、ここでは図3を終了します。通常のソフトと同様に、「スタート」をクリックして「C」の項を探してゆくと、「Codex - QR Reader & Generator」が出てくるので、クリックして起動します。図4が起動した画面。

図4では「QRコードをスキャン」をクリック。⇒ 図5では「カメラ」をクリック。



これでパソコンのカメラが起動し室内の風景が表示されるので、カメラの前にQRコードを置くとQRコードを認識してそのURLが表示され、「リンクを開く」をクリックするとそのサイトが開きます。

(2) QRコード読み取りの実例①

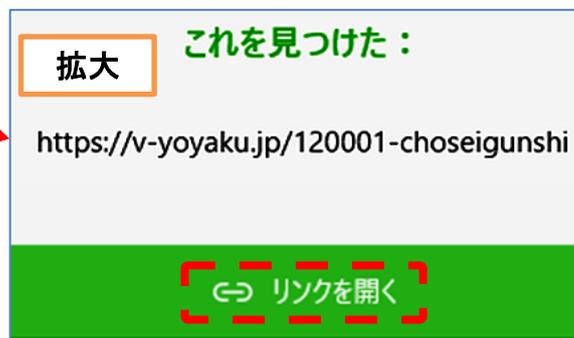


【QRコード例】

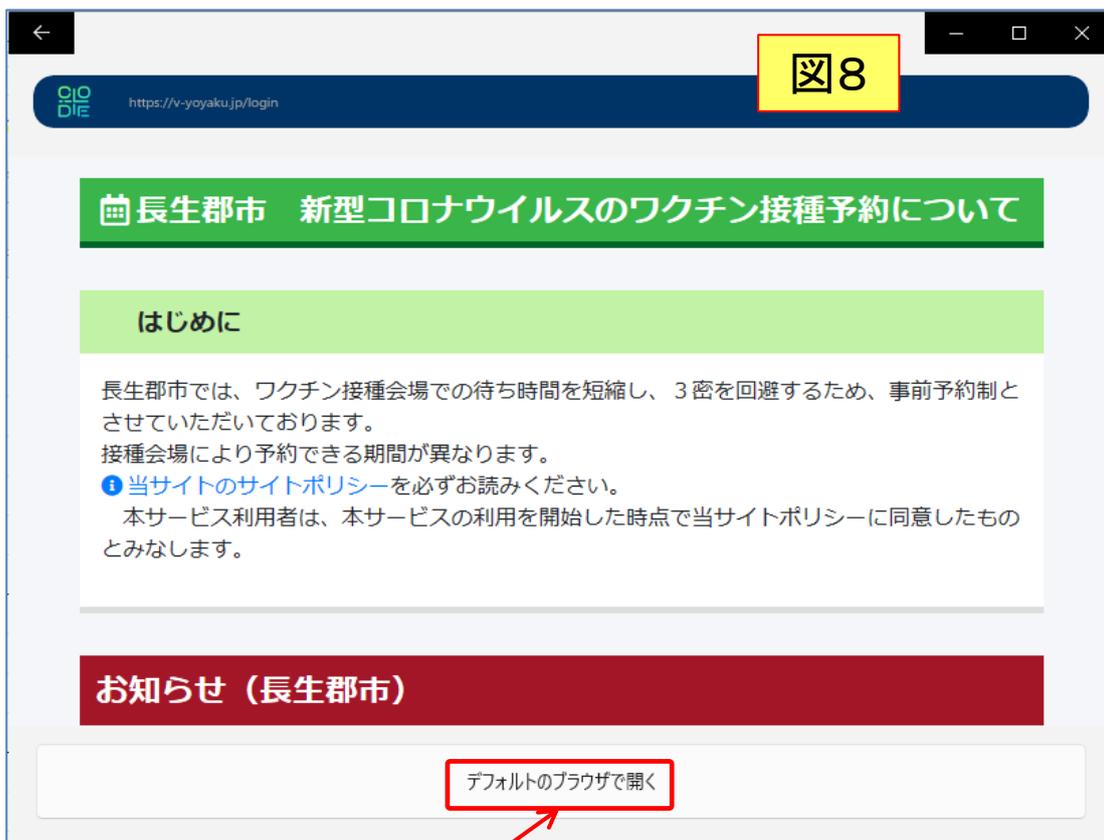
長生郡市ワクチン接種予約
受付センターのQRコード
(拡大図は右)



カメラの前にQRコードをかざし、
中央部の白枠内にQRコードが収まるように位置調整すると、
コードを認識し図6→図7に表示が変わり、URLリンクなどが
表示されます。



「リンクを開く」をクリックすると、Webサイトが
表示されます(図8)。



このサイトで良ければ、そのままスクロールしてワクチン予約を進めることができます。
ただし、「デフォルトのブラウザで開く」をクリックすると、いつも使用しているブラウザを使って
サイトが開くので(ログイン情報を記憶している)、ワクチン予約がよりスムーズになります。